

# いしくしろ 精緻な文様の石釧が出土

みみたにくさやま

耳谷草山古墳群(豊岡市日高町山本)

北近畿豊岡自動車の建設に伴い、古墳時代前期～中期にかけて営まれた耳谷草山古墳群の調査を行っています。今回は 24 号墳から出土した石釧をご紹介します。

石釧は、古墳時代前期から中期前半にかけての古墳に副葬される腕輪形石製品の一つで、単なる装飾品でなく、大和政権から配布された宝器的な遺物とみる考えもあります。

この石釧は、墳丘を区画する溝から出土しました。材質は加工のしやすい滑石です。内側の直径は約 5.9 cm なので、成人の腕に装着するのは難しいかもしれません。形態や石材の種類から、古墳時代中期初頭の 4 世紀末頃につくられたものと考えられます。

外側を巡る稜の上下のくぼんだ面に、細かな櫛の歯のような文様が刻まれています。上下で互い違いになっています。似たような文様構成は、イモガイ製の貝輪に例がありますが、石釧では確認できず、全国的にも非常に珍しいものです。

この石釧は県内で 28 例目の出土ですが、埋葬施設からではなく、墳丘の区画溝から出土したのは県内では初めてです。文様や出土状況が特異であり、当時の人が石釧に込めた思いを考える材料となりそうです。

(公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部 大嶋昭海

(公財) 兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

【HP】 <https://www.hyogo-ctc.or.jp/ctc/business/storage/index.html>

